

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 1. 地震時におけるマニュアルの未整備 2. 防災用品の整備不足 3. 緊急時の連絡網の見直し 4. 地震時の防災訓練	1. 地震時のマニュアル整備 2. 防災用品の整備 3. メールアドレスも含めた連絡網の整備 4. 地震時を想定した防災訓練の実施	1. 地震時のマニュアル作り 2. 防災ずきん・非常用品食料・医薬品等の整備 3. 電話番号+メールアドレスの整備 4. 戸塚消防署分署に協力依頼して防災訓練	12ヶ月
2	48	○役割、楽しみごとの支援 1. ご入居者全員にそれぞれの役割を見出せていない。 2. 重度の方に対する楽しみごとの支援が不十分。	1. 役割を持つことで、生活の意欲を高め、自分の存在意義を再確認していただく。 2. 重度の方も外出や外食など、他の利用者と同じように楽しんでいただく。	1. ご本人の意向を確認しながら、ADLに応じた役割を持っていただく。 2. 2~3ヶ月に1回、個別対応で外出や外食などに取り組んでいく。	12ヶ月
3	24	○これまでの暮らしの把握 1. 入居時のアセスメントのみで、入居後に増えた情報を職員同士で共有しきれていない。また、その情報をケアプランに活かしきれていない。	1. ご入居者の生活歴をより把握することで、ご本人の潜在能力を引き出したり、より楽しく暮らしたりできる環境を整える。	1. 回想法やご家族から、お話を伺い、ご本人が主人公の紙芝居を作ったり、半生記を作ったりする。	12ヶ月
4	13	○職員を育てる取り組み 1. 外部研修の参加率が低い 2. 内部研修についても職員全員参加が達成できていない。	1. 外部研修を通じて、最新の知識や技術を吸収する。 2. 内部研修の参加を徹底することで、同じ理念向かってのケアを実践していく。	1. 施設長や教育委員会の委員長より、外部研修の参加者を指名する。 2. 研修を複数回に分け、職員全員び参加を達成する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。